

(社)日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第93回 レベル1PRA分科会 議事録

1. 日時 第93回：2019年4月18日（木）13:30～16:00

2. 場所 電力中央研究所大手町地区 734会議室

3. 出席者

(出席委員) 高田主査, 桐本副主査, 橋本幹事, 高橋, 石田, 喜多, 岩谷, 小谷, 佐藤(輝),
黒岩, 塩田(谷口代理), 小森(12名)

(常時参加者) 藤崎, 佐竹, 池田(芳), 佐藤(遼) 候補(4名)

(敬称略)

4. 配布資料

P4SC-93-1 第92回L1PRA分科会議事録(案)

P4SC-93-2 人事について

P4SC-93-3 停止時PRA標準制定版 転載許諾等への対応

P4SC-93-4 L1PRA標準統合性能化案コメント対応一覧

P4SC-93-5 内的事象L1PRA標準 統合性能化案

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員12名が出席しており, 分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。
また, 配布された資料が確認された。

(2) 第92回議事録の確認

資料P4SC-93-1を用いて第92回分科会の議事録を確認した。コメントがあれば連絡いただくこととし, 特になければそのまま正式版とすることとなった。

(3) 人事について

資料P4SC-93-2により, 岡野委員(日本原子力研究開発機構)の退任と三浦常時参加者(テプコシステムズ)の解除が報告された。また, 新たな常時参加者として, 佐藤(遼)候補(テプコシステムズ)の登録が承認された。

(4) 改定停止時PRA標準の転載許諾等について

資料P4SC-93-3により, 制定されている改定停止時PRA標準の転載許諾と校正の対応に

ついて報告があった。次回リスク専門部会にて編集上の修正範囲であるか確認を頂くことになった。

(5) L1PRA 標準統合性能化 中間報告コメント対応について

資料 P4SC-93-4 及び P4SC-93-5 により、L1PRA 標準統合性能化案の中間報告におけるリスク専門部会・標準委員会からのコメント対応について検討した。各標準に共通する部分については、リスク専門部会の中にワーキングを設けて検討していく予定であることが紹介された。主な議論は次のとおり。

・修正箇所の確認

－7.2.1.1 項において、「起因事象は因果関係を明確にして分析し同定する。下記のいずれか又はその組合せを用い、・・・」の部分は、「起因事象は、下記のいずれか又はその組合せを用い、因果関係を明確にして分析し同定する。」に再修正する。

・成功基準で PCT1200℃、使命時間 24 時間など具体的な数値を挙げて規定している部分

－炉心・燃料の損傷条件設定は、既に個々の評価毎に検討されてきているため、ASME/ANS 標準の規定振りも参考に、規定全体を見直す。合わせて、ASME/ANS 標準のカテゴリ分けを参考に、現状の条件設定を例示等に反映することも検討する。

－使命時間 24 時間については、ASME/ANS 標準でも採用されているため、現行規定の妥当性を検討する。JIWG 経由で JCNRM に本規定の経緯を確認する、電中研 NRRC で検討している ASME/ANS 標準の経緯調査と連携することなども考慮していく。

・システム、機器の作動条件の扱い

－システム、機器の使用可能性を判断する条件設定については、ASME/ANS 標準の規定振りとカテゴリ分けを参考に、規定のあり方を検討する。

・定量化における不確実さ・点推定・SOKC の扱い

－ASME/ANS 標準では、点推定ベースをカテゴリ I、不確実さ解析ベースをカテゴリ II に設定しているため、SOKC の扱いを含めて、このようなカテゴリ分けを取り込んだ規定のあり方を検討する。

・ ASME/ANS 標準でのカテゴリ分けは、単に適合・不適合のラベルを貼ることを避け、目的に応じた評価を可能にすることであり、このようなカテゴリ分けが有効な箇所について継続して検討し、全体の規定振りを調整する。また、標準の階層化を取り込んでいく場合、現行の附属書の必要性についても確認していく。

(6) スケジュール、その他

次回分科会は 6 月 14 日 PM の予定とする。

以上